

2024年4月15日

JFE 建材株式会社

人と地球に優しい建築物を目指して

## QL デッキ (QL99-50) 合成スラブ新耐火認定シリーズ販売開始

JFE 建材株式会社は、従来仕様よりも高性能で低コストなQL デッキ (QL99-50) 新耐火認定シリーズ「QL50-4300SPW」(耐火仕様⑥)の販売を開始しました。合成スラブ用デッキプレートとして多数ご採用いただいているデッキ山高さ 50mm のQL50 から、2019 年公開の「QL50-6000(頭付きスタッド限定高荷重仕様)」より約 5 年ぶりの新認定仕様追加となります。

### 【QL50-4300SPW】\* 鉄骨造中低層建築向け

鉄骨造建築では、施工性がよくコストメリットのあるデッキ合成スラブが広く使用されています。特に中低層建築物ではデッキ山高さ 50mm のQL50 を、焼抜き栓溶接(SPW)で梁に接合する仕様が主流です。今回開発した「QL50-4300SPW」は、山高さ 50mm のQL デッキを焼抜き栓溶接接合で設計する際のユーザー利便性を飛躍的に高めた、床 1 時間耐火構造の新認定です。

#### 特長 (1) デッキ合成スラブの適用範囲を拡大

積載荷重の上限が約 25%増加し、スパン 2.2m で許容積載荷重 10.2kN/m<sup>2</sup>を実現しました。

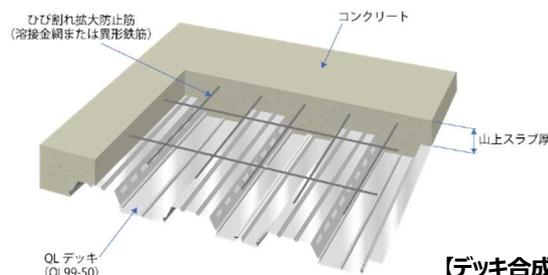
これにより、例えば将来的な建築物のリノベーションリユースによるプラン変更・床荷重増に対応し得る上方弾力性も備わり、設計汎用性が大きく高まりました。

#### 特長 (2) 更なるコストの削減、および、環境負荷低減に寄与

焼抜き栓溶接接合仕様における認定範囲を拡大\*、これにより床スラブ構築にかかる材工コストを大幅に削減し、かつ、使用材料の軽量化により環境負荷低減にも寄与します。

\*例:デッキ板厚 1.0mm が使用可能。単純支持でも耐火補強筋が不要。異形鉄線溶接金網の延長筋型継手が可能。

新耐火シリーズは、2017 年から公開している鉄骨造高層超高層向け「QL75-7200」「QL75-12000」「QL50-6000」(頭付きスタッド接合高荷重仕様)に加え、今回「鉄骨造中低層向け 4300SPW(SPW 接合仕様)」の新仕様を追加し、建築物の規模・用途・予算に応じた最適なデッキ合成スラブの選択範囲を拡張しました。JFE 建材は今後も、施主・設計者・建設現場などユーザーの声に広く耳を傾け、社会的要請・市場ニーズに応えるべく鋭意研究・開発に努めてまいります。



【デッキ合成スラブ構成図】

\*デッキ合成スラブとは：合成スラブ用デッキプレートと構造用コンクリートが一体となって挙動する床スラブ構造で、コンクリート内にひび割れ拡大防止筋が配される構成となっています。

〔本件に関するお問い合わせ〕

JFE 建材株式会社 建築建材商品営業部 TEL:03-5715-7520